

 シラバス参照

<<最終更新日：2016年03月04日>>

基本情報

時間割コード	308592	開講区分(開講学期)	2 学期	曜日・時間	月4
開講科目名	日本語・日本文化特別研究 B			教室	言社/E棟104講義室
開講科目名(英)	Special Seminar in Japanese and Japanese Culture B			定員	
必修・選択	選択			単位数	2
対象所属				年次	1,2,3年
分野				開講言語	日本語
担当教員	真嶋 潤子				

詳細情報

講義題目	日本語教育学の学習・教育理論の諸問題
授業の目的と概要	日本語教育学の高度な研究を行い、優れた論文作成を目指す。
学習目標	日本語教育学の最新の研究動向を把握することができる。 自分の研究テーマのための研究方法の精緻化ができる。 日本語教育学の論文発表ができる。
履修条件・受講条件	特になし。
特記事項	日本語教育学の「第二言語習得研究」「年少者教育研究」「バイリンガル教育研究」「言語政策研究」を研究分野として実証研究をする受講生を対象に、(1) 研究方法の精緻化のための解説と議論、(2) 各自の研究発表と建設的批評を行い、優れた論文作成を目指す。
授業形態	演習科目
授業外における学習	指定参考書を読んでくること。 自分の研究方法を精緻化すること。 自分の論文を書き進めること。 自分のテーマに関連する博論を読むこと。
教科書・教材	特になし。
参考文献	John W. Creswell (2009) "Research Design: Qualitative, Quantitative, and Mixed Methods Approaches, 3rd Edition." Sage Publications. David Nunan (1992) "Research Methods in Language Learning." CUP John W. Creswell 著 操華子他訳 (2007) 『研究デザイン –質的・量的・そしてミックス法』日本看護協会出版会 佐藤郁哉 (2008) 『質的データ分析法 –原理・方法・実践』新曜社 竹内理 (2012) 『外国語教育研究ハンドブック』松柏社

	その他の文献は授業で指示する。
成績評価	出席+発表+レポートにより総合的に評価する。
オフィスアワー	初回の授業で案内する。
コメント	特になし。

授業担当教員

教員氏名

データがありません

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 最新の研究動向、最近の博論紹介
- 第3回 学生の発表と討議1
- 第4回 学生の発表と討議2
- 第5回 研究方法についての講義
- 第6回 学生の発表と討議3
- 第7回 学生の発表と討議4
- 第8回 学生の発表と討議5
- 第9回 学生の発表と討議6
- 第10回 学生の発表と討議7
- 第11回 学生の発表と討議8
- 第12回 学生の発表と討議9
- 第13回 学生の発表と討議10
- 第14回 ゲストスピーカー
- 第15回 総括